



# 西松建設で夏にも着工

## アライプロハンス 葛西第1期A棟 8.8万<sup>2</sup>mの物流施設

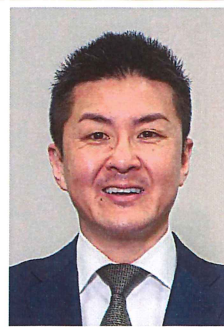
総合不動産のアライプロハンス（東京都墨田区、新井嘉喜雄社長）は2022年夏にも、江戸川区で大規模物流施設「アライプロハンス葛西」の初弾工事に西松建設の設計・施工で着

工する。2棟総延べ約12・8万平方メートルの規模。立地を生かした川沿いのテラスや周辺の商業施設との動線を生かすなど、周囲の街づくりにとの連携も視野に入れる。建築費は約150億円。25年の全体完成を目指す。

川工場跡地（東葛西9の23の1）。敷地面積は約5・2畝。敷地を最大限に活用するため、同社施行の土地区画整理事業と一体で開発する。建物はA、Bの2棟で構成する。第1期として西松建設の設計・施工で整備するA棟は、S造5階建てで延べ約8万8000平方メートルの

マルチテナント型。24年6月の完成を目指す。B棟はS造4階建てで延べ約4万平方メートルの規模。BTS型とすることも検討している。A棟が完成次第着工し、25年末の完成を見込む。敷地南側では江戸川区による「なぎさ公園」（約6畝）の再編・整備と園内の「角野栄子児童文学館」の

建設工事が進む。同社はなぎさ公園や文学館の訪問客も呼び込めるよう、区に働き掛ける考え。敷地を東西に横切る3本の道路を区に提供し、災害時の避難路に利用できるようにする。川沿いのテラスから堤防に降りられたり、近隣の商業施設に移動できたりすることも視野に入れている。プロジェクトを指揮する新井太郎代表取締役専務は「アライプロハンスが約120年間の歴史で培ったノウハウを総動員し、これまでにない物流施設にした」と話している。



新井専務

アライプロハンス葛西の完成イメージ（アライプロハンス提供）

